

在メダン日本国総領事館 海外安全対策情報（令和3年1月～3月）

1 治安情勢

(1) 一般犯罪

ア 邦人の方が被害に遭われた事件
関連情報はありませんでした。

イ 状況
前期に引き続き、各種犯罪の中で、強盗、窃盗が頻発していました。

(2) 薬物犯罪

ア 邦人の方が関係する事件
関連情報はありませんでした。

イ 状況
前期に引き続き、覚せい剤や大麻の使用、所持、密輸による検挙が後を絶ちませんでした。

(3) テロ情勢

1月中、アチェ州において、同州でのテロの実行と ISIL の活動に参加するためにアフガニスタンへの渡航を計画していたテロ容疑者5名が逮捕されました。

3月中、イスラム過激組織であるジェマー・イスラミア（JI）に関連するテロ容疑者として、北スマトラ州において18名、西スマトラ州において6名のテロ容疑者が逮捕されました。

当館管轄州以外では、3月中、南スラウェシ州マカッサル市の教会前において自爆テロ事件、ジャカルタの国家警察襲撃テロ事件が発生しました。

当地では、警察、軍及び政府関連施設、教会等の宗教施設（宗教行事）などがテロの標的となる傾向にありますので、訪れる際は、周囲の状況に注意を払い、不審な状況を察知した際は速やかにその場を離れるようにするなど、自らの安全確保に努める必要があります。

(4) 交通事故

邦人の方が被害に遭われた事故に関する情報はありませんでした。

当地では、スピード違反や無理な追い越し等、交通ルール違反及び車両の整備不良が日常茶飯事であるため、以下のような事故が頻繁に発生しています。

安全な交通手段を選択し、自らの安全確保に努める必要があります。

【公共バスによる死亡事故】

公共ミニバス（通称アンコット）がスピード超過により交差点を曲がり切れず横転し、乗客2名が死亡。

(1月中、北スマトラ州メダン市)

【観光バスによる死亡事故】

山中を走行中の大型観光バスがスピード超過により道路から谷に転落し、乗客2名が死亡。

(2月中、西スマトラ州アガム県)

(5) 災害 (火山)

北スマトラ州カロ県所在のシナブン山が、1月から3月までの間、74回にわたり噴火しました。

噴火の大部分は、小中規模のものですが、最大では噴煙の高さが5,000メートルに達しました。

これまで死傷者は報告されていませんが、カロ県では家屋や農作物が降灰の被害を受けました。

噴火警戒レベルは3 (地震・火山活動が活発化している状態) が維持されています。

2 対日感情

全般的に良好な状況に変化は見られませんでした。

3 日本企業の安全に関する諸問題

関連情報はありませんでした。